

その他の注意すべき外来植物

オオカワヂシャ

オオカワヂシャは、水田や湿地、湖沼や河川などの水辺に生育する越年草です。河北潟では分布が拡大していませんが、水辺での繁殖力が強いことから、注意が必要です。
〈環境省による特定外来生物、緊急対策外来種に選定されています。〉



ワルナスビ

ワルナスビは、草地に生える多年草です。長い根茎をもち、茎や葉にするどい棘があることから、防除が難しく、年々増える傾向にあります。またナスの害虫であるニジュウヤボシtentウの発生を促すことから、早い段階での防除が望まれます。



グリーン・アース農地・水・環境保全組織の取り組み

農家の高齢化や農業人口の減少の中で、農地に関する共同活動の維持や高度な農村環境の保全対策の実施が難しくなっています。解決のためには、地域を構成する多様な主体が参加する仕組みが求められています。国は平成 19 年より、こうした仕組みによる地域環境を守る取り組みに対して支援を始めました。河北潟干拓地には、一部の農家以外には住民がいないため、自然保護に取り組む団体やボランティア団体などの協力により、12 団体からなるグリーン・アース河北潟が結成されました。農地・水・環境向上対策によって取り組まれてきた活動は、平成 24 年度からは農地・水・保全管理支援交付金として引き継がれ、新たにグリーン・アース農地・水・環境保全組織として活動を継続しています。

- 農地、水路などの基礎的な保全活動
(水路の草刈り・泥上げ、農道の砂利補充など)
- 農地・水・環境保全組織の取り組み
(組織の設立、地域資源保全プランの策定など)
- 高度な農地・水の保全活動
(水質、土壌、地域環境の保全のための取り組み)
- 農村環境保全のための活動
(生物多様性保全、景観形成など)
- 施設の長寿命化のための活動
(農業用排水路等の補修・更新など)

パンフレット「河北潟干拓地の圃場に侵入する外来植物」

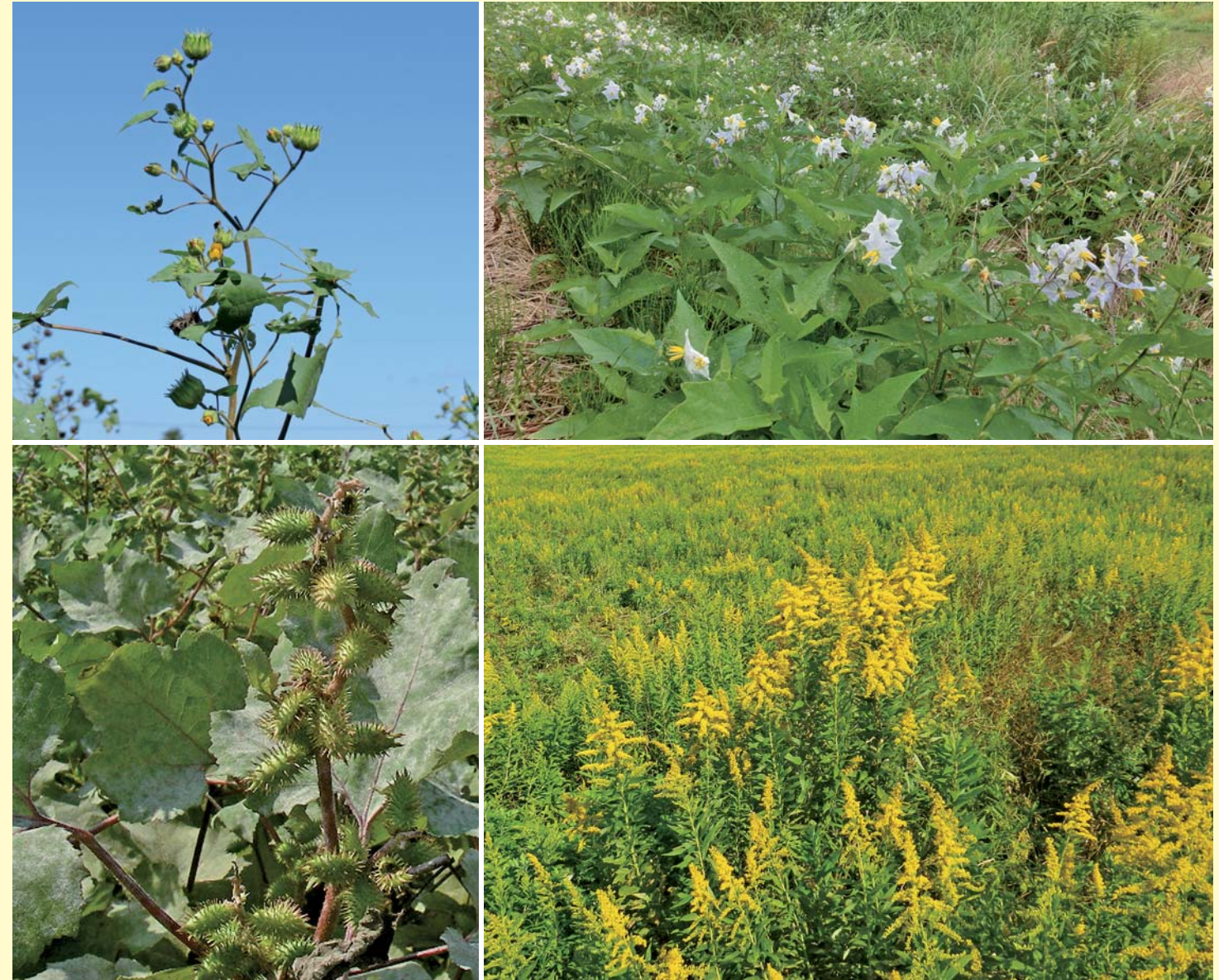
発行／2019 年 3 月

発行所 グリーン・アース農地・水・環境保全組織

〒929-0328 石川県河北郡津幡町字湖東 395 Tel 076-288-4424 E-mail qa@k-kantaku.com

編集 NPO法人河北潟湖沼研究所 <http://kahokugata.sakura.ne.jp/fram.html>

河北潟干拓地の圃場に侵入する外来植物



写真／左上：イチビ、右上：ワルナスビ、左下：オオオナモミ、右下：セイタカアワダチソウ

河北潟干拓地の圃場は、1 筆 60a の大規模な圃場です。広い圃場での雑草対策は、大きな課題となりますが、生育力の強い外来植物は、圃場に侵入すると年々増えるため、非常に防除が難しくなります。河北潟干拓地には色々な種類の外来植物がみられます。農作物の生育に影響を及ぼすほど旺盛に繁茂する外来植物もみられ、これらの外来植物が増えないよう、拡がらないよう、また新たな侵略的外来植物が侵入しないよう注意していかなければなりません。現在の圃場で確認される主な外来植物についてとりあげます。

「外来種」とは、もともといなかった地域に人の活動によって持ち込まれた生物のことをいいます。そのうち植物を指す場合に「外来植物」あるいは「帰化植物」といった用語が使われます。



アオイ科 イチビ

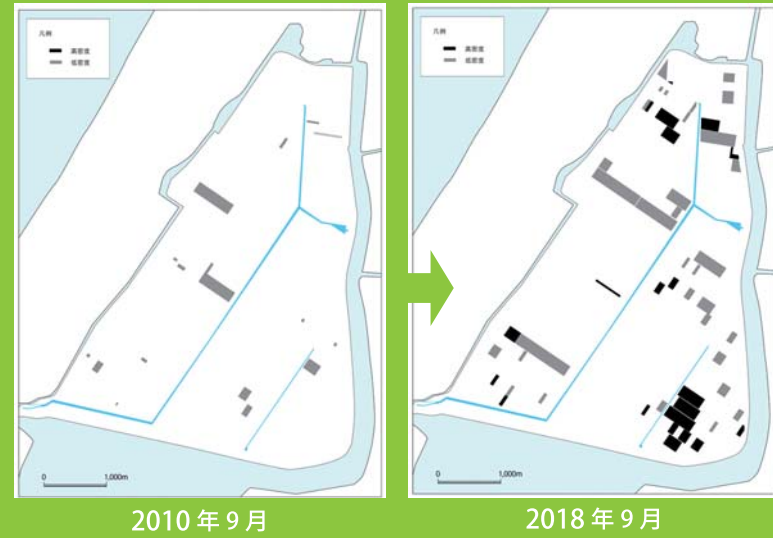
【別名／^{ボウマ}苩麻、^{キリアサ}桐麻、^{ホクチガラ}火口桿】一年草。高さ 0.5 ～ 2m。
日当たりの良い肥沃地を好み、河北潟干拓地では大豆畑に多く、10 年ほど前は分布は限られていましたが、高密度に発生する圃場が目立つようになりました。
〈日本生態学会による「日本の侵略的外来種ワースト 100」に選定されています。〉

原産地と侵入時期

インド原産。古くから日本に入り、繊維をとるため栽培されていました。近年に輸入穀物に混入して侵入したものは種子生産性、発芽能力が高いなど系統が異なるとされます。ほぼ全国的に分布し、防除の難しい雑草といわれています。

特徴

虫媒花。強い異臭あり。茎の繊維質が強く、機械での刈り取りが困難。種子の寿命が 20 年以上との報告があります。



ヒユ科 ホソアオゲイトウ

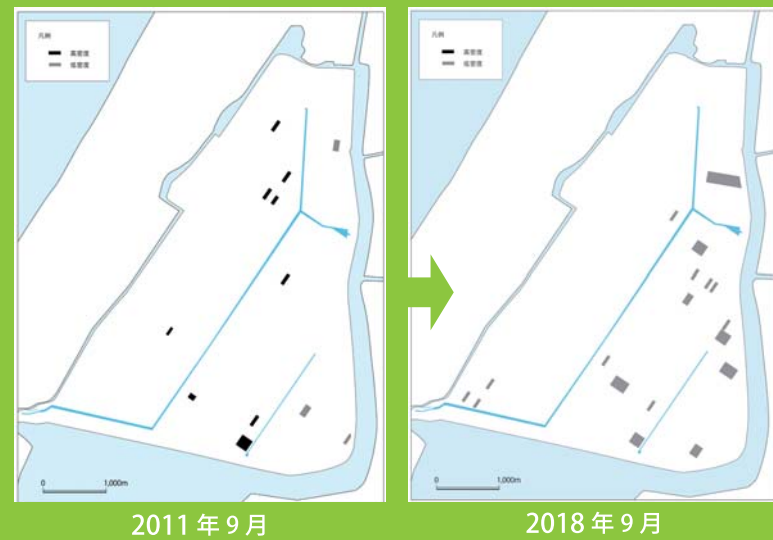
一年草。高さ 0.8 ～ 2m。
日当たりの良い荒れ地を好み、河北潟干拓地では休耕地、草地、野菜畑、大豆畑などにみられます。

原産地と侵入時期

南アメリカ原産。明治時代に日本に入ったとされます。市街地の道ばたや荒れ地に帰化しています。

特徴

小さい花が密に集まって花穂をつくりまします。ケイトウもホウレンソウも同じヒユ科の植物です。



キク科 セイタカアワダチソウ

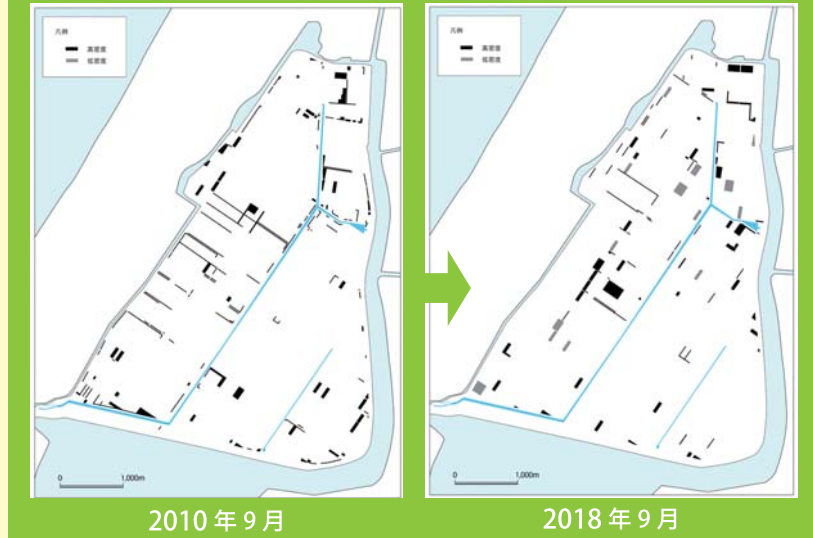
【別名／^{だいばぎ}代萩】多年草。高さ 0.5 ～ 4m。
空き地や造成地、荒れ地を好み、河北潟干拓地では休耕地や農道、畦、防風林帯などに多くみられます。
〈環境省による「重点対策外来種」、日本生態学会による「日本の侵略的外来種ワースト 100」に選定されています。〉

原産地と侵入時期

北アメリカ原産。明治時代に観賞用、蜜源植物として持ち込まれ、第二次世界大戦後に急速に拡まったとされています。

特徴

虫媒花。根や地下茎から他の植物の発芽を阻害するアレロパシー作用を有します。萩の代用として、乾燥した茎がすだれなどの材料とされていたり、観賞用、蜜源植物、石鹼、花染めの染料など、様々な利用がみられます。



キク科 オオオナモミ

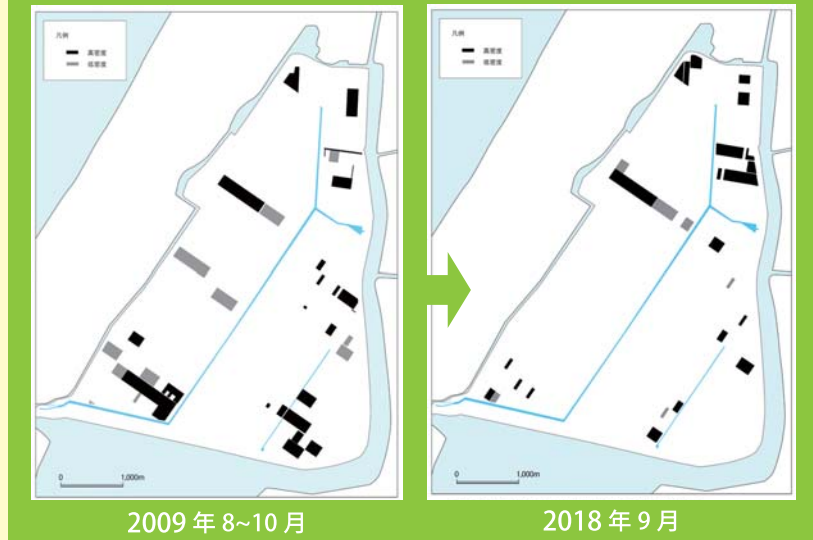
一年草。高さ 0.5 ～ 2.5m。
荒れ地を好み、河北潟干拓地では大豆畑に多くみられます。調査を開始した 10 年前にはすでに、複数の圃場で大きな群落が確認されました。
〈環境省による「その他の総合対策外来種」、日本生態学会による「日本の侵略的外来種ワースト 100」に選定されています。〉

原産地と侵入時期

北アメリカ原産。1929 年に岡山県で記録とされます。史前帰化植物のオナモミと競合し、オナモミは姿を消しつつあります。オナモミは環境省により絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

特徴

風媒花。「ひつつき虫」で親しまれる棘のある果苞で動物にくっついて運ばれます。アレロパシー作用を有する。



特定外来生物：生態系等に係る被害を及ぼし、又は及ぼすおそれがあるものとして、外来生物法によって規定された外来生物。
侵略的外来種：外来種のうち、わが国の生態系、人の生命・身体、農林水産業等への被害を及ぼす又は及ぼすおそれがあるなど、特に侵略性が高く、自然状態では生じ得なかった影響をもたらすもの。